

 新アカデミー合唱団
New Academy Chorus

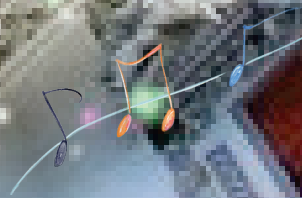
コンサート 6
Concert 6

2023年 5月14日〔日〕

開場 14:30

開演 15:00

札幌コンサートホール *Kitara* 大ホール



ごあいさつ

本日は、ご来場いただき誠にありがとうございます。

私ども新アカデミー合唱団は、新型コロナウイルス感染拡大のため2年間活動を休止しましたが、多くの皆様のご理解をいただき昨年5月に「新アカデミー合唱団コンサート5」を開催することができました。

昨年の演奏会では、ヴィヴァルディ作曲「GLORIA」、信長貴富編曲「1971年生まれポップソング」、源田俊一郎編曲「ふるさとの四季」をすばらしいソリストと管弦楽団の協力で開催できました。また、予想をはるかに超える多くのお客様にもご来場いただきました。心から感謝申し上げます。

さて、今回の「コンサート6」は、前半でモーツァルト作曲「証聖者の荘厳晩課」をすばらしい4名のソリストと管弦楽団を迎えて演奏します。後半は、信時貴富編曲「ヴィヴァルディが見た日本の四季」でお楽しみいただきます。

最後には、お客様にもご協力いただく企画もございます。新緑あふれる中島公演の初夏の大切な時間を、素敵な合唱曲とともに過ごしいただければ幸いです。皆様のご来場に心から感謝申し上げます。

2023年5月14日

新アカデミー合唱団
団員一同

*表紙について

モーツァルトがザルツブルク時代の最後に書いた傑作ヴェスペレ『証聖者の荘厳晩課』K.339。
表紙写真は、モーツァルトが洗礼を受けたザルツブルク大聖堂のドーム。天井の絵画が美しく、ヨーロッパ最大級である6台のパイプオルガンはモーツァルトもオルガン奏者を務めていたと言われている。



Program



指揮 鎌倉 亮太

I ヴェスペレ「証聖者の荘厳晩課 ハ長調」 *Vesperae solennes de Confessore*

モーツァルト作曲

W.A.Mozart K.339

i. <i>Dixit Dominus</i>	主は言われる	ソプラノ	月下愛実
ii. <i>Confitebor</i>	主をほめまつる	メゾソプラノ	松田久美
iii. <i>Beatus Vir</i>	幸いなるかな	テノール	荏原孝弥
iv. <i>Laudate Pueri</i>	ほめたたえよ、主のしもべたちよ	バリトン	下司貴大
v. <i>Laudate Dominum</i>	ほめたたえよ	オルガン	鹿野真利江
vi. <i>Magnificat</i>	わが魂は主をあがめ	管弦楽	札幌シンフォニエッタ

(約30分)

*** 休憩 (20分) ***

II 混声合唱・ヴァイオリン・ピアノのための

「ヴィヴァルディが見た日本の四季」

信長 貴富 編曲

《春》花	武島羽衣 詩 / 滝廉太郎 曲	ヴァイオリン	林 ひかる
《夏》城ヶ島の雨	北原白秋 詩 / 梁田 貞 曲	ピアノ	鹿野 真利江
《秋》村祭り	文部省唱歌		
《冬》ペチカ	北原白秋 詩 / 山田耕筰 曲		

(約15分)

III モーツァルトとヘンデルの世界

《モーツァルト作曲》 *W.A.Mozart*

ピアノ 鹿野 真利江
管弦楽 札幌シンフォニエッタ

アヴェ・ヴェルム・コルプス ～聖体賛歌～
Ave Verum Corpus

恋とはどんなものかしら ～オペラ『フィガロの結婚』第2幕より～
Voi che sapete

お手をどうぞ ～オペラ『ドン・ジョヴァンニ』第1幕より～
La ci darem la mano

《ヘンデル作曲》 *G.F.Handel*

プラタナスの木陰で ～オペラ『セルセ』第1幕より～
Ombra mai fu (ラルゴ)

ハレルヤ、コーラス ～オラトリオ『メサイヤ』第2部より～
Halleluyah, Chorus

(約20分)



I ヴェスペレ「証聖者の荘厳晩課 ハ長調」 モーツァルト作曲

Vesperae solennes de Confessore

W.A.Mozart K.339

パリのオルセー美術館に行ったことがなくても、「ミレーの晩鐘」と聞けば、どんな絵なのか思い浮かべることができるでしょう。夕暮れ迫る中、若い夫婦が頭を垂れ、胸の前に手を合わせ祈っている姿が描かれています。二人の胸から肩にかけて地平線が引かれ、女性の右肩の遙か遠方に教会のシルエットがおぼろげに浮かんでいます。今、二人はこの教会で打たれた夕刻の鐘－アンジェラスの鐘（「晩鐘」の正式名称）－を耳にして、一日の仕事に感謝を捧げています。

この鐘を合図に教会では夕べの祈りである晩課（ヴェスペレ）が始まります。晩課は一日の終わりではなく、日没とともに始まる一日の最初のおつとめです。また「証聖者（殉教者ではない聖人）」とは本曲の場合、モーツァルトが宮廷音楽家として仕えていたザルツブルク大司教、コロレド伯ヒエロニムスの洗礼名ともなっている、古代教会の教で、ヘブライ語からラテン語へと翻訳された聖書、『ウルガタ（共通訳の意）聖書』を完成させた聖ヒエロニムスのことです。その祝日である9月30日の晩課を通常より大がかりに、つまり荘厳なおつとめするために、本曲は1780年、モーツァルト24歳、そしてザルツブルク時代最後の作品として作曲されました。

聖務日課の中心は旧約聖書の詩篇を唱えることで、詩篇は祈禱文として朗唱されるとともに、歌唱されるものであり、多くの音楽家によって作曲され、多彩な表現を生んできましたが、晩課で唱えるべき詩篇は決まっています。

1. ヒエロニムスによるウルガタ聖書では詩篇109番（現在では詩篇110番、以下同じ）
2. 詩篇110(111)
3. 詩篇111(112)
4. 詩篇112(113)
5. 詩篇116(117)
6. ルカ伝第1章46-55

各曲の終わりでは「Gloria Patri, et Filio, et Spiritui Sancto. Sicut erat in principio, et nunc, et semper, et in saecula saeculorum. Amen（願わくは、父と子と聖霊として栄えあれ。初めにありしごとく、今もいつも、代々に至まで。アーメン。）」と歌われます。特に第5曲「ラウダーテ・ドミニム」は単独でもよく取りあげられます。また終曲の「マニフィカト」は「ルカ伝」から取られていますが、この箇所は現在のカトリック教会の口語訳では「聖母マリアの歌」と呼ばれています。マリアは受胎告知の後、洗礼者ヨハネを身ごもっていた親戚のエリザベトのもとを訪問し、自身に起こったことを初めて他人に打ち明けます。するとエリザベトの胎内の子が小躍りして喜んでいることをエリザベトが伝えると、マリアはそれに応えて、「わたしの魂は主をあがめ、わたしの霊は救い主である神を喜びたたえます。身分の低い、この主のはしためにも目を留めてくださったからです。今から後、いつの世の人々もわたしを幸いな者と言うでしょう……」と神に感謝の言葉を捧げるのです。



II 混声合唱・ヴァイオリン・ピアノのための

「ヴィヴァルディが見た日本の四季」

信長貴富 編曲

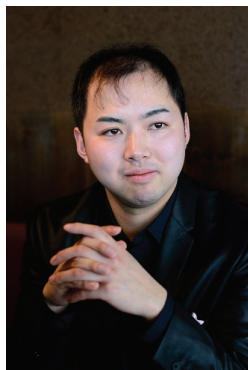
村上春樹の新刊『街とその不確かな壁』にFMラジオからヴィヴァルディの曲が流れる場面があります。1678年、ヴェネチアに生まれ、当時は作曲家としても名ヴァイオリニストとしても華やかに活躍していたにもかかわらず、死後まったく顧みられることがなかったヴィヴァルディは200年以上の歳月を経て、1950年代、協奏曲集『四季』の楽譜出版とともに一挙にその名を世界に知られるようになった、云々。信長はそのよく知られた旋律と日本の唱歌、叙情歌とを巧みに組み合わせました。信長も書いているとおり、気候も季節感も地理的条件も、また文化的背景も異なるこの両者を結びつけるのはなかなか困難なことでしょう。とりわけ「夏」と「城ヶ崎の雨」（北原白秋作詞、梁田貞作曲）には取り合わせた妙が感じられます。確かにこの詩作の頃、白秋は個人的事情で城ヶ崎を望む三浦半島の三崎町に蟄居していましたが、彼が目にした「利休鼠の雨」は果たして「夏の雨」なのか。さまざまな情景が想像されます。なお作曲家の梁田貞は札幌の創成小学校、札幌中学校（現・札幌南高）、札幌農学校予科（現・北大）を経て、東京音楽大学（現・東京芸大）に学び、今でも親しまれている作品を数多く残しました。資生館小学校には彼の銅像が建っているのです、是非一度、足をお運びください。

III モーツァルトとヘンデルの世界

『アヴェ・ヴェルム・コルプス（めでたし、まことのお体よ）』はモーツァルトの亡くなる半年ほどの前の曲。心身ともに困難を極めていた中でこのように美しい曲を生み出すことができるとは！。『恋とはどんなものなのか』はオペラ『フィガロの結婚』の第2幕で小姓ケルビーノが歌う小アリア。先日のhitaruでの公演をご覧になった方もいらっしゃるでしょう。デンマーク映画『バベットの晩餐会』では『手を取り合って』（オペラ『ドン・ジョヴァンニ』第1幕）がフランス語で、大変効果的に歌われていました。残念ながら男はドン・ジョヴァンニとは違って振られてしまいますが。本来デュエットの曲を四声で歌うとどうなることでしょう。『オンブラ・マイ・フ』は「なつかしい木陰」とも訳される、ヘンデルのオペラ『セルセ』第1幕冒頭のアリア。キャスリーン・バトルの伸びやかな歌声がその美しい映像とともに強く印象に残っています。『ハレルヤ』は言うまでもなくヘンデルのオラトリオ『メサイア』の第2部最終曲。皆さんもよろしければ立ち上がって一緒にお歌いください。そして最後は、お・た・の・し・み？

文：テノール 北村 清彦

Profile



Permanent conductor Kamakura Ryota

指揮：鎌倉 亮太

北海道教育大学大学院修士課程修了。フィンランド国立シベリウス音楽院へ留学。札幌市民芸術祭大賞、NHK旭川放送局賞、三浦洋一賞、道銀芸術文化奨励賞を受賞。ピアニスト、指揮者として活動の幅を広げ、ピアノ協奏曲の弾き振り、オペラコレペティトウアなど活動は多岐に渡る。札幌大谷大学芸術学部音楽学科准教授。

Pianist Shikano Marie

ピアノ：鹿野 真利江



北海道教育大学岩見沢校芸術課程音楽コースを首席で卒業。同大学院修士課程修了。第8回、第9回横浜国際音楽コンクール、審査員特別賞。札幌市民ロビーコンサート、札幌市民芸術祭新人音楽会等、ソロやアンサンブルで多数の演奏会に出演。オペラや合唱のピアニストとしても幅広く活動している。現在、ヤマハ音楽教室システム講師。栗沢認定こども園リトミック講師。新アカデミー合唱団ピアニスト。ハイメスアーティスト会員。

Violinist Hayashi Hikaru

ヴァイオリン：林 ひかる



北星学園女子高等学校音楽科卒業。北海道教育大学岩見沢校芸術課程音楽コース弦楽器専攻卒業。シベリウスアカデミーに留学。2014年、札幌音楽家協議会ハンガリー公演に参加。2018年2月には、日本シベリウス協会北海道支部主催のソロリサイタルを開催する。また、クラシック以外の演奏会の自主企画やレコーディング、オーケストラの客員演奏も務める等、活動は多岐にわたる。これまでに6枚のCDをリリースしている。

Soprano Tsukishita Megumi

ソプラノ：月下 愛実



北海道教育大学岩見沢校芸術課程音楽コース首席卒業。武蔵野音楽大学大学院音楽研究科ヴィルトゥオーゾコース首席修了。第31回ハイメス音楽コンクール第1位、令和2年度札幌市民芸術祭大賞、オーディエンス賞、第3回日本歌曲コンクールin薬師寺第3位等受賞。第58回日本演奏連盟新進演奏家育成プロジェクトにて、札幌交響楽団、指揮者の現田茂夫氏と共演。現在北海道を中心にソロやアンサンブルの演奏活動を行う。北海道二期会準会員。

Mezzosoprano Matsuda Kumi

メゾソプラノ：松田 久美



札幌大谷短期大学音楽科声楽コース卒業、同短大専攻科、研究生Ⅱ終了。第4回東京国際声楽コンクール奨励賞受賞。2013年3月よりドイツケルンにて研鑽を積む。オペラでは数多くの「タイトルロール」を演じ、その他「第9」、宗教曲などのソリストも数多く務める。2014年にソロリサイタルを札幌コンサートホールKitaraにて開催。大谷高校音楽同窓会「ペオニア」、北海道フーガー・ヴォルフ協会、札幌室内歌劇場会員。(株)エルム楽器声楽講師。女声合唱団「合歓」指揮者。

Tenore Ehara Takaya

テノール：荏原 孝弥



北海道教育大学岩見沢校芸術課程音楽コースを卒業。東京藝術大学大学院音楽研究科修了。オズィモ市オペラアカデミーを修了。新国立劇場オペラ研修所修了。《ラ・チェネレントラ》、《ドン・ジョヴァンニ》等数多くのオペラに出演。コンサートでは《第9交響曲》や《メサイア》等のソリストとして数多く出演、イタリアにおいても《ミサ・クリオージャ》、《小荘厳ミサ曲》等にソリストとして出演した。近年では北海道二期会《皇帝ティトの慈悲》、日本オペラ振興会《パリのジャンニ》のタイトルロールを務めた。©auraY2

Baritone Shimotsuka Takahiro

バリトン：下司 貴大



北海道教育大学岩見沢校芸術課程音楽コース声楽専攻卒業、同大学院修士課程修了。札幌市民芸術祭大賞、道銀文化財団奨励賞、中田喜直コンクール大賞など数多くのタイトルを獲得。PMF20210は巨匠F・ルイジ指揮プッチーニ<ボエーム>にマルチェロ役で出演。2016年夏ローマ歌劇場のロッシーニ<セヴィリアの理髪師>のフィガロ役でデビューし、オペラの本場イタリアで活躍。現在、光塩学園女子短期大学の音楽講師を務める。



Members



新アカデミー合唱団

Soprano ソプラノ

東 俊子	安齊久美子	飯田 美穂	伊藤美智子	大島 景子	岡崎 理子
小原 則子	尾山亜紀子	笠島 友美	菅野 鈴子	小石 直美	齋藤由紀子
二階堂ひさえ	西村ナホ子	福田 聡子	若林 郁子		

Alto アルト

飯塚 美西	池田 静子	岡本 明子	小林 千尋	齋藤美登里	佐藤 怜子
高浜真理子	田中 笙子	南部 紀子	橋本 裕子	長谷川真理子	林 雪子
廣澤美紀子	水口 裕子	森 眞理子	山谷 恵子		

Tenor テノール

池端 正道	石垣 昭典	一宮 徳明	今堀 新	金谷 隆	北村 清彦
佐久間和良	佐々木真也	細木 正知	管井 聖二	中川 敬雅	開本 英幸
宮路 真人	矢島 克美	山口 忠夫			

Bass バス

赤石 尚一	鎌倉 清次	駒澤 寛	齋藤 豊	笹岡 憲泰	下坂 登
鈴木 誠次	田中 誠	名古屋英男	松田 典彦	渡辺 直己	

Voice Trainer

ヴォイストレーナー

Takahashi Masako

Azuma Sonomi

Yamagishi Manami

Soprano & Tenor : 高 橋 雅 子

Alto : 東 園 己

Bass : 山 岸 まなみ

札幌シンフォニエッタ

管弦楽 : The Sapporo Sinfonietta



古典派と近現代をレパートリーの中心とする2管編成を基本としたアマチュアオーケストラ。常任指揮者は置かず、多彩なプロの共演者を招き指導を仰ぎながら、団員各自の意欲と研鑽によった活動を心がけている。1985年4月の第1回演奏会以来、66回の演奏会を開催。
(HP : <https://bit.ly/3XhtY3K>)

Concert Mistress 永石 歓和

コンサートミストレス

1st Vn.	相内 俊一	小菅 哲子	松尾 昌枝	森井 光恵	徳田 莉万
2st Vn.	相川 麻由	仮屋 志郎	中島 豊子	佐々木汐里	高木 美加
Vla.	石川 悟	柿崎 明子	菅 大典	千葉 輝夫	
Vc.	工藤 澄子	栗原 和幸	小平 聖子		
Cb.	白石未佳子	/	Fl.	菅野美由紀	/ Ob.
Cl.	林 雅美	/	Fg.	大上都実期	前川公美夫
Hr.	菅野 靖洋	村川 伸也	/	Trp.	佐藤 克廣
Trb.	清水千恵子*	十倉那津代*	杉山 由樹*	/	Perc

岩坂 航* *: 賛助出演

About New Academy Chorus

2016年1月、札幌アカデミー合唱団の解散により、同合唱団の組織・団員を母体として鎌倉亮太氏を正指揮者に迎えて発足。同年6月、第69回コーラス・フェスティバルにてデビュー。7月には「新アカデミー合唱団コンサート1」を札幌教育文化会館大ホールにて開催、ロッシーニの「小荘厳ミサ曲」、オペラ合唱曲を演奏。2017年6月の「コンサート2」はKitara大ホールで開催し、フォーレの「レクイエム」と団員演出によるミュージカルナンバーを演奏した。2018年5月の「コンサート3」もKitara大ホールで開催、グノー「聖チェチーリアのための荘厳ミサ曲」と英仏伊の歌を、2019年5月の「コンサート4」ではブルックナーの「テ・デウム」とオペレッタの合唱曲を演奏した。主に宗教曲・オペラ・ミュージカルなどの曲を得意としている。

また他団体主催行事への賛助出演等も多く、2017年2月に北海道教育大学岩見沢校の学生・OB・OGによる「Young Hokkaido Philharmony」(F・キーンレ指揮)が主催する3回のベートーヴェン「第9」公演に出演し、同年10月には太平洋フェリーで洋上コンサートを開催、11年には御法川雄矢指揮の俊友会「第9演奏会」へ賛助出演した。2019年7月にはC・エッセンバッハ指揮(合唱指揮:鎌倉亮太)のPMFプレミアムコンサートでマーラー「千人の交響曲」を、同年9月には山下一史指揮、札幌交響楽団の信時潔「海道東征コンサート」に出演した。



2022. 5. 22 コンサート5 Kitara大ホール

さらに、北海道二期会主催オペラ「カヴァレリアリレスティカーナ(2016.12)」「不思議の国のアリス(2017.11)」「椿姫(2019.3)」「道化師(2019.11)」、hitaruOperaプロジェクト公演オペラ「蝶々夫人(2021.3)」、LCアルモーニカ主催オペラ「ラ・ボエーム(2016.12)」「ホフマン物語(2018.8)」「アドリアーナ・ルクヴルール(2022.1)」、オペラファクトリー北海道主催オペラ「Pagliacci(2019.6,8,2020.1)」、札幌市教育文化会館主催「歌劇ノンノ(2021.8)」にも多くの団員が出演するなど、積極的に活動している。<http://www.new-academy.jp/new/>

♪団員を募集しています
お問い合わせは合唱団事務局まで

新アカデミー合唱団 事務局
事務局長: 下坂 登

〒060-0052 札幌市中央区南2条東1丁目フラーテ札幌711
Tel : 090-8276-9383 Fax : 011-251-4757
E-mail : nac.shimo3-2016@dream.com

ゆき まさ 中川敬雅税理士事務所

〒060-0004 札幌市中央区北4条西16丁目1番地
第一ビル6F
TEL 011-688-8285 FAX 011-688-8286

一棟貸切型のプライベートヴィラ



北海道ボールパークFビレッジ内 3/30開業

VILLA BRAMARE (ヴィラ プラマール)

住所 北海道北広島市Fビレッジ8番地
HP villa-bramare.com

宿泊予約受付中

